今回、初めてホストファミリーになりました。
私たち家族、特に３人の子どもたち（小３・年中・２歳）にとって、素晴らしい出会いになると思ったからです。

我が家にきてくれたのは、アメリカの高校に通うマルタさん（16 歳）。ロシアのモスクワ生まれで、11 歳の頃、家族でニューポートビーチ市に移住したそうです。

日本語も堪能で、日本滞在中は、なるべく日本語を使いたいとの意向があり、我が家ではほぼ日本語のみで過ごしました。学校では中国語の勉強もしているそうで、合計４ヶ国語に話せること、学校と家で別の言語を使っているということに、小学生の息子はとても驚いていました。
日本のアニメ（ジブリやスパイファミリーなど）もよく知っていて、子どもたちと一緒にスクリーンで日本語のアニメを観る機会も作りました。

２日間岡崎で過ごしたあとは、別のホストファミリー一家と共に、白川郷と飛騨高山へ１泊２日の旅行に出かけました。友人宅（古民家）でみんなで BBQ をしたり、街歩きや食べ歩きなどをして、かけがえのない時間を過ごしました。浴衣を着せて近くの神社へお参りしたり、和菓子とお茶を食べたり、とても喜んでもらうことができました。

私自身も、彼女はロシアとウクライナの戦争が始まる前に移住したため、モスクワ在住の祖父母とは長い間会えていないという話を聞いたり、彼女のアイデンティティはロシアにあることを言葉の端端から感じるなかで、国際情勢、平和の大切さを肌身で感じることができました。
最終日に手渡してくれたお手紙には、漢字、カタカナ、ひらがなの全てが使われた日本語で、あたたかいメッセージをくれて、感動しました。
子どもたちもいまだに「マルタちゃんに会いたい、元気かな」と口にしています。

また来年、家族で日本に来たいと言ってくれていたので、再会できることを心待ちにしています。私たちも、いつかニューポートビーチ市を訪れたいと思います。